

26 インフラ分野のDX推進への支援

1 3次元点群データ取得・更新に向けた補助制度の拡充

【提案内容】

提出先 国土交通省

インフラ施設等の維持管理の効率化や、災害対応の迅速化を図るために実施する3次元点群データの取得・更新に対する国庫補助制度を拡充すること。

◆現状・課題

近年、気候変動の影響等により台風や豪雨による風水害が激甚化・頻発化しているとともに、大規模地震の発生 of 切迫性が高まっている。

令和6年1月に発生した能登半島地震では、多くのインフラ施設が甚大な被害を受けたほか、道路に隣接する斜面の崩落や、道路の寸断により救助や復旧活動に大きな影響を及ぼした。

このような自然災害から国民の生命・財産を守り、社会・経済活動を維持していくためには、強靱な国土を形成する社会資本の適切な維持管理が必要となっており、また災害発生時には、速やかな復旧活動が求められる。

3次元点群データは、定期的に取得することでインフラ施設の変状といった維持管理に必要な情報を把握することが可能となるほか、あらかじめ平時の情報を整備しておくことで、災害発生時に被災箇所の点群データを取得し、被災前後のデータを重ね合わせることで速やかに被災状況を把握することができるなど、インフラ施設等の維持管理の効率化や、災害対応の迅速化に極めて有効である。

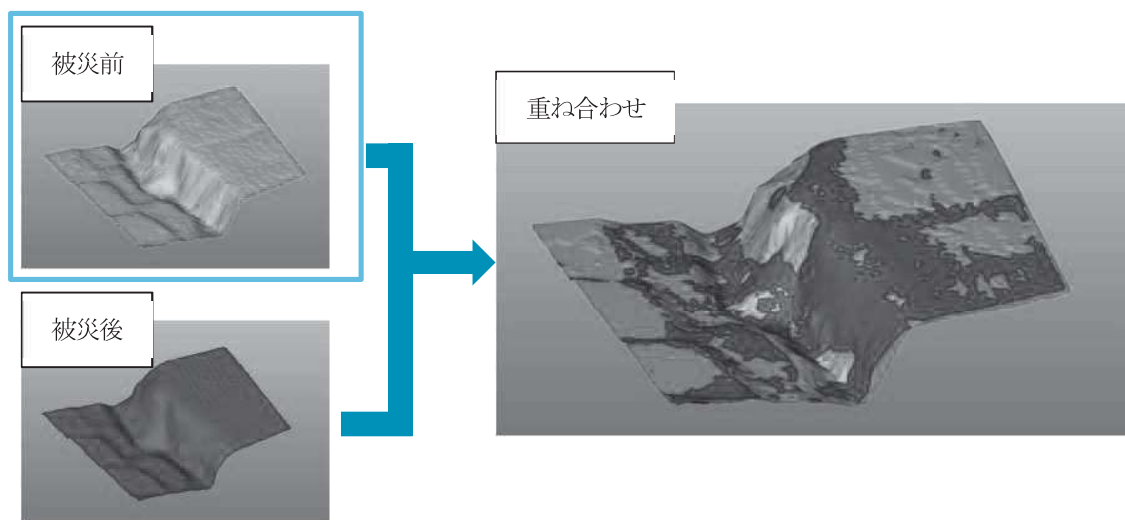
3次元点群データを活用するためには、まずはデータの取得を進める必要があるが、その取得には多額の費用が必要であり、現在の国の制度では、自治体全域のインフラ施設等を対象とするデータ取得・更新に対する補助制度が限定的であることから、自治体にかかる負担が大きい。

◆実現による効果

国庫補助制度の拡充により、地方自治体による3次元点群データの取得や活用が促進され、インフラ施設等の適切な維持管理及び災害時における迅速な復旧活動が可能となる。

【3次元点群データの活用例】

被災前後のデータを重ね合わせるによる被災情報の早期把握



(神奈川県担当課：県土整備局技術管理課)